

令和8年度 第69回関東地区高等学校通信制教育研究大会（栃木大会）実施報告書

事項	内容
事業名	令和8年度 第69回関東地区高等学校通信制教育研究大会（栃木大会）
期日	令和8年9月11日（金）
開催場所	栃木県立学悠館高等学校
主催	関東地区高等学校通信制教育研究会
後援	栃木県教育委員会 栃木市教育委員会 栃木県高等学校長会 栃木県高等学校定時制通信制教育振興会 栃木県高等学校教育研究会 公益財団法人日本教育公務員弘済会栃木支部 NHK宇都宮放送局 （株）NHK出版
参加者	関東地区1都8県教育委員会 関東地区高等学校通信制教育研究会加盟校教職員 （来賓、NHK、NHK出版等を含む）
実施目的	高等学校通信制教育の現状と問題点について研究協議を行い、その解決を図るとともに、地区内の学校 相互の理解と認識を深め、通信制教育の振興に資する。
実施内容	受付 10:00 ～ 10:30 開会式 10:30 ～ 10:50 講演会 10:50 ～ 12:00 「多様な困難をもつ通信制高校生の理解と支援 ～社会的自立を支える学校の役割～」 （講師）作新学院大学短期大学部 教授 矢野 善教 氏 昼食 12:00 ～ 13:00 分科会 13:00 ～ 14:50 第1分科会（学校運営）群馬県立高崎高等学校（群馬） 第2分科会（生徒指導）群馬県立太田フレックス高等学校（群馬） 第3分科会（放送教育）NHK 学園高等学校（東京） 第4分科会（英語）群馬県立前橋清陵高等学校（群馬） 第5分科会（情報）新潟県立新潟翠江高等学校（新潟） 全体会 15:00 ～ 15:25 閉会式 15:25 ～ 15:40
参加費	加盟校：5,000 円（参加費 2,000 円、資料代 3,000 円） 一般参加：なし
成果	・開会式では、主催者と地教委の挨拶、来賓よりご祝辞を賜った。講演会では「多様な困難をもつ通信制高校生の理解と支援～社会的自立を支える学校の役割～」のテーマで、作新学院大学短期大学部教授矢野 善教氏からご講演をいただいた。講演では、通信制高等学校の特徴と支援の捉え方、社会的自立に向けて意識的に取り組むこと、PBSと応用行動学・ABC分析等についてお話をいただいた。 ・研究協議の1～5分科会において通信制課程における諸課題について、発表校の取組について説明され、質疑応答及び情報交換が行われた。そして最後に、教育行政担当者等より助言をいただいた。 ・第3分科会（放送教育）の指導助言においては、中央大学特任准教授澁川幸加氏より、発表内容への指導助言に加えて、「生成AIの活用」に関する助言をいただいた。 ・大会を通して、有意義な情報交換が実施でき、参加者の資質・能力を向上させることができたと思われる。

分科会	分野・教科	発表学校名	発表テーマ等
第 1	学校運営	群馬県 県立高崎高等学校 教頭 古海 伸陽 先生	本校における通信制教育の現状
第 2	生徒指導	群馬県 県立太田フレックス高等学校 教頭 高橋 美子 先生	本校の生徒指導～現状と課題～
第 3	放送教育	東京都 NHK学園高等学校 主任教諭 今西 智輝 先生 主任教諭 小椋 光彦 先生	放送視聴に着目した学習支援が数学の興味・関心と理解に及ぼす影響
第 4	英語	群馬県 県立前橋清陵高等学校 教諭 岡田 裕 先生 教諭 藤井 延幸 先生	通信制英語スクーリングにおける「第 1 回完結型」指導の 実践 ～視覚的足場かけとパズルワークによる、レポート学習に 繋がる授業デザイン～
第 5	情報	新潟県 県立新潟翠江高等学校 教諭 本望 英明 先生	本校の情報教育（情報 I）における高等教育機関との連携 ～プログラミング学習を新潟情報専門学校で実施して～